



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 春生
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 江口 聡 (TEL) 045-941-1388
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	43,741	2.0	2,356	0.1	2,294	3.7	1,307	△19.4
2025年3月期第1四半期	42,887	3.2	2,354	3.3	2,213	1.2	1,623	12.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,252百万円(△11.8%) 2025年3月期第1四半期 1,419百万円(△11.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	15.55	—
2025年3月期第1四半期	19.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	215,678	138,347	64.0
2025年3月期	232,976	142,140	60.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 138,051百万円 2025年3月期 141,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	60.00	75.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		20.00	—	60.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	2.8	17,000	8.6	16,400	10.9	9,600	0.3	114.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	86,649,504株	2025年3月期	86,649,504株
2026年3月期1Q	2,551,837株	2025年3月期	2,551,777株
2026年3月期1Q	84,097,697株	2025年3月期1Q	84,022,398株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料について）

・決算補足説明資料については、2025年8月8日（金）にTDnetに開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続いたしました。しかしながら、不安定な海外情勢や米国による通商政策、国内における物価上昇に伴う個人消費への影響等、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は437億41百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は23億56百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は22億94百万円（前年同期比3.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億7百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(ファッション事業)

ファッション事業のAOKIでは、年々暑くなる夏のビジネスシーンを快適にお過ごしいただくため、通気性に優れたエアクルスーツのラインナップを拡大するとともに、Tシャツやビズポロなどのコーディネートアイテムを豊富に展開し、「エアクルスシリーズ」の品揃えを強化いたしました。また、高機能レディースウェア・ブランド「MeWORK（ミワーク）」では、現代女性の多様なライフスタイルや働き方において“ラク”を叶える「神ラクシリーズ」から機能性をさらに追求した「神ラクセットアップ」を発売し、商品の拡充と提案を強化いたしました。ORIHICAでは、200店舗体制に向けて未出店エリアを含む新規出店を計画的に推進し、認知度向上とマーケットシェア拡大及びドミナントの強化を図りました。店舗面では、ORIHICAで7店舗を新規出店した一方、営業効率改善のためAOKIで1店舗及びORIHICAで2店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は607店舗（前期末603店舗）となりました。

これらの諸施策の実施及び既存店が堅調に推移した一方、新規出店コスト等が増加した結果、売上高は222億58百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は7億53百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

(エンターテインメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、鍵付完全個室店舗の拡大を推し進めるとともに、気温の上昇に合わせた店内環境の整備や有名メーカーとタイアップした夏の風物詩メニュー「極そうめん」の提供を開始いたしました。カラオケのコート・ダジュールでは、アイドルグループとのコラボキャンペーンの実施や学生限定プランの提供等によりお客様層の拡大と集客に注力いたしました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24では、月会費がお得な新規入会キャンペーン等により引き続き会員獲得に注力するとともに、全店に拡大したトレーニングサポートを強化いたしました。店舗面では、快活CLUBで2店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため快活CLUBとFIT24でそれぞれ1店舗及びコート・ダジュールで2店舗を閉鎖した結果、ランシシステムの複合カフェ自遊空間他82店舗（内フランチャイズ48店舗）を含め、当第1四半期末の店舗数は766店舗（前期末768店舗）となりました。

これらの諸施策の実施及び既存店が堅調に推移した結果、売上高は182億24百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は15億47百万円（前年同期比3.4%増）と増収増益になりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、最新のトレンドを取り入れながら自分らしい結婚式を実現したいというニーズにお応えするため、オリジナルのウェディングスタイル「TREND COLLECTIONS」の2025年新作を発表するなど、引き続き受注活動に注力いたしました。また、アニヴェルセルカフェにおいて、期間限定フェアを開催し季節に合わせたデザートやドリンクメニューを提供いたしました。

これらの諸施策の実施等により、基幹店である表参道店及びみなとみらい横浜店を中心に施行組数が増加した結果、売上高は27億7百万円（前年同期比14.7%増）、営業損失は57百万円（前年同期は営業損失2億13百万円）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、グループ内店舗の遊休スペースの賃貸を推し進めた一方、一部店舗の原価が増加したこと等により、売上高は17億70百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は3億71百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ172億97百万円減少し、2,156億78百万円となりました。

流動資産は、売掛金が季節的要因等により59億11百万円、現金及び預金が110億3百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ165億85百万円減少いたしました。固定資産は、繰延税金資産等の投資その他の資産のその他が8億円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ7億12百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、買掛金が季節的要因等により42億9百万円及び未払法人税等が法人税等の支払いにより20億50百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ87億59百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により53億9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ47億44百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び配当金の支払いの結果37億38百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ37億93百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績について、コストは上昇傾向にあるものの営業利益及び経常利益を確保することができ、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に特別利益が発生したこと等により減益となりましたが、通期の進捗に対して売上高は概ね予定どおりであり、利益はそれぞれやや上回って推移いたしました。

通期の業績予想については、米国の通商政策の影響や物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりへの懸念など先行きは不透明ですが、2025年5月9日(金)に開示しました通期業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,880	23,876
売掛金	14,855	8,944
棚卸資産	22,737	22,594
その他	7,357	7,827
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	79,819	63,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,760	65,367
土地	30,397	30,397
その他（純額）	15,952	16,336
有形固定資産合計	112,110	112,101
無形固定資産	6,403	6,416
投資その他の資産		
差入保証金	6,233	6,261
敷金	19,025	19,073
退職給付に係る資産	143	145
その他	9,263	8,462
貸倒引当金	△24	△16
投資その他の資産合計	34,642	33,926
固定資産合計	153,156	152,444
資産合計	232,976	215,678

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,023	13,814
1年内返済予定の長期借入金	10,305	9,339
未払法人税等	2,190	139
賞与引当金	3,398	928
役員賞与引当金	193	38
その他	16,515	17,607
流動負債合計	50,627	41,867
固定負債		
長期借入金	25,684	20,375
退職給付に係る負債	62	64
資産除去債務	8,818	8,857
その他	5,642	6,166
固定負債合計	40,207	35,463
負債合計	90,835	77,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,612	22,612
利益剰余金	98,017	94,279
自己株式	△2,960	△2,960
株主資本合計	140,952	137,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151	158
退職給付に係る調整累計額	737	677
その他の包括利益累計額合計	889	836
非支配株主持分	298	295
純資産合計	142,140	138,347
負債純資産合計	232,976	215,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	42,887	43,741
売上原価	25,762	25,685
売上総利益	17,124	18,056
販売費及び一般管理費	14,770	15,699
営業利益	2,354	2,356
営業外収益		
受取利息	23	28
受取配当金	6	9
その他	36	26
営業外収益合計	66	64
営業外費用		
支払利息	65	63
固定資産除却損	15	8
店舗閉鎖損失	65	30
その他	61	23
営業外費用合計	207	126
経常利益	2,213	2,294
特別利益		
投資有価証券売却益	226	—
特別利益合計	226	—
特別損失		
減損損失	71	178
特別損失合計	71	178
税金等調整前四半期純利益	2,369	2,115
法人税、住民税及び事業税	61	69
法人税等調整額	703	741
法人税等合計	765	810
四半期純利益	1,603	1,304
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,623	1,307

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,603	1,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△171	7
退職給付に係る調整額	△13	△59
その他の包括利益合計	△184	△52
四半期包括利益	1,419	1,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,438	1,254
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション事業	エンター テイメント 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	21,803	—	—	—	21,803	—	21,803	—	21,803
複合カフェ	—	14,451	—	—	14,451	—	14,451	—	14,451
カラオケ	—	2,405	—	—	2,405	—	2,405	—	2,405
フィットネス	—	1,217	—	—	1,217	—	1,217	—	1,217
ブライダル	—	—	2,360	—	2,360	—	2,360	—	2,360
その他	—	106	—	—	106	5	111	—	111
顧客との契約から 生じる収益	21,803	18,181	2,360	—	42,345	5	42,350	—	42,350
その他の収益	—	20	—	516	536	—	536	—	536
外部顧客への売上高	21,803	18,202	2,360	516	42,882	5	42,887	—	42,887
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	0	1,165	1,168	16	1,185	△1,185	—
計	21,803	18,204	2,360	1,681	44,050	22	44,072	△1,185	42,887
セグメント利益 又は損失 (△)	907	1,496	△213	390	2,581	△1	2,580	△225	2,354

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△225百万円には、セグメント間取引消去950百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,176百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定し又は損益が継続してマイナスとなる営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ19百万円、26百万円及び25百万円です。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション事業	エンター テイメント 事業	アニヴェ ルセル・ブラ イダル事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	22,258	—	—	—	22,258	—	22,258	—	22,258
複合カフェ	—	14,527	—	—	14,527	—	14,527	—	14,527
カラオケ	—	2,274	—	—	2,274	—	2,274	—	2,274
フィットネス	—	1,302	—	—	1,302	—	1,302	—	1,302
ブライダル	—	—	2,706	—	2,706	—	2,706	—	2,706
その他	—	96	—	—	96	7	103	—	103
顧客との契約から 生じる収益	22,258	18,200	2,706	—	43,165	7	43,172	—	43,172
その他の収益	—	21	—	547	568	—	568	—	568
外部顧客への売上高	22,258	18,222	2,706	547	43,734	7	43,741	—	43,741
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	1	1,222	1,226	15	1,241	△1,241	—
計	22,258	18,224	2,707	1,770	44,960	22	44,982	△1,241	43,741
セグメント利益 又は損失 (△)	753	1,547	△57	371	2,615	△0	2,614	△258	2,356

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△258百万円には、セグメント間取引消去916百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,174百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定し又は損益が継続してマイナスとなる営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ0百万円、176百万円及び2百万円です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	2,461百万円	2,506百万円